

明るく元気の出る町

平成5年6月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1993

6

NO.459



応援します

地域の手づくりイベント

2大イベントは

町民の楽しみから
町を代表するイベントへ

黄桜まつり

は昭和六十年、町
商工会青年部と同

婦人部が「八塩いこいの森に

咲く黄色い桜を利用して何か
できないか」と「黄桜まつり」
を企画したのがはじまりです。

本町の大きなイベントと言えば「黄桜まつり」と「雪まつり」。また、夏と秋にもイベントを行い、四季を通してのイベント実施を要望する声も大きくなっています。

春の黄桜まつりにあわせて、本町のイベントをリポートします。



▲毎年大にぎわいの健康ウォークマラソン

東屋、キャンプ場などが整備され、親子連れで楽しめる公園となつています。黄桜まつりも会場の整備が進むにつれて、ミス黄桜発表会や湖上火など盛り込み、内容も充実。現在ではテレビ、新聞などの報道機関にも取り上げられ「県内最後の花見会場」としてすっかり定着しています。

◆黄桜まつり(会場・八塩いこいの森)

回	開催年月日	主 内 容	入り込み客(人)
1	60.5. 11~12	出店、モデル撮影会	2,000
2	61.5. 10~11	出店、きき酒コンクール	3,000
3	62.5. 9~10	出店、カラオケ大会、モデル撮影会	4,000
4	63.5. 14~15	出店、ミス黄桜コンテスト、溪流釣り大会、ウォークマラソン	5,700
5	元.5. 13~14	出店、ミス黄桜コンテスト、ABS出前民謡、ウォークマラソン	6,500
6	2.5. 3~13	出店、ミス黄桜発表会、溪流釣り大会、ウォークマラソン、青年駅伝	11,000
7	3.5. 3~12	出店、ミス黄桜発表会、コイ釣り大会、ウォークマラソン、青年駅伝	23,000
8	4.5. 3~10	出店、湖上火、ミス黄桜発表会、コイ釣り大会、ウォークマラソン	12,000
9	5.5. 3~16	出店、湖上火、ミス黄桜発表会、波つこたて選手権、ウォークマラソン	18,000

◆雪まつり(会場・大平スキー場)

回	開催年月日	主 内 容	入り込み客(人)
1	60.2. 16~17	出店、雪上綱引き、ビール早飲み、カップヌードル早食い、雪像	2,500
2	62.2. 22~23	出店、ゲートボール大会、どんと焼き、スキー大会、宝探しカルタ大会	3,500
3		中 止	
4	63.2. 20~21	出店、花火大会、スキー大会、たいまつ滑走、どんと焼き、トライアスロン	4,000
5	元.2. 18~19	出店、花火大会、スキー大会、たいまつ滑走、どんと焼き、チビッコ大相撲	2,000
6	2.2. 3~4	出店、花火大会、スキー大会、おにぎり等早食い大会、大声コンテスト	3,500
7	3.2. 3~4	出店、花火大会、スキー大会、早食い大会、トライアスロン	2,800
8	4.2. 8~9	出店、花火大会、スキー大会、早食い大会、トライアスロン	1,500
9	5.2. 13~14	出店、花火大会、スキー大会、もちつき、ウルトラOXクイズ、ビンゴ	2,500

(資料・広報ひがしゆり)

雪まつり
は「寒くて長い冬に雪の祭典で気分を盛り上げよう」と町商工会青年部と同婦人部、町連合青年会が昭和六十年に企画したのがはじまりです。また町営大平スキー場への誘客を図ることも目的の一つでした。雪不足のため第三回目は中止になったものの、花火大会やトライアスロン、ビンゴゲームを取り入れ、冬の行事として定着しています。

この二つのイベントは「町民の楽しみ」として最初は商工会、青年会といった団体が主催して行われ、その後は町観光協会と共に町外へPR、今では本町の「2大イベント」として欠かすことのできないものとなっております。

地域では

数多くのイベント



満開の桜の下で「乾杯」

季節外れの雪が降るなど関係者を心配させましたが、一日延期した当日はきれいに晴れ上がり、絶好の花見びよりとなりました。主催者の小野清幸自治会長は「自治会で冬の手入れから花見の準備まで一生懸命行っている。宿のみならず、町の観光行事の一つになるように頑張っていきたい」と話しています。当日は約五十人で、心ゆくまで

黄桜まつり、雪まつり以外にも多くの地域のイベントがあります。宿自治会では五月一日、宿の桜並木を利用して手づくりの「観桜会」を行いました。観桜会を予定していた四月三十日には、

**観光協会では
「会議」から「現場」へ**



4月21日に行われた総会
町観光協会（大沼武且会長）では、四月二十一日に総会を行い、平成五年度の事業計画などが話し合われました。この中で会員からは「一年一回の会議だけの観光協会では意味がない。会議を年数回行うようにし、直接自分たちが現場に向いて事業を行うことも必要ではないか」と

か「夏と秋にもイベントを行い、四季に一回は何らかの形で楽しめるようにしたらどうか」などの積極的な意見が多く出されました。今までの会議だけの観光協会から現場で活動できる観光協会へと前向きに進んでいます。

町では

応援します

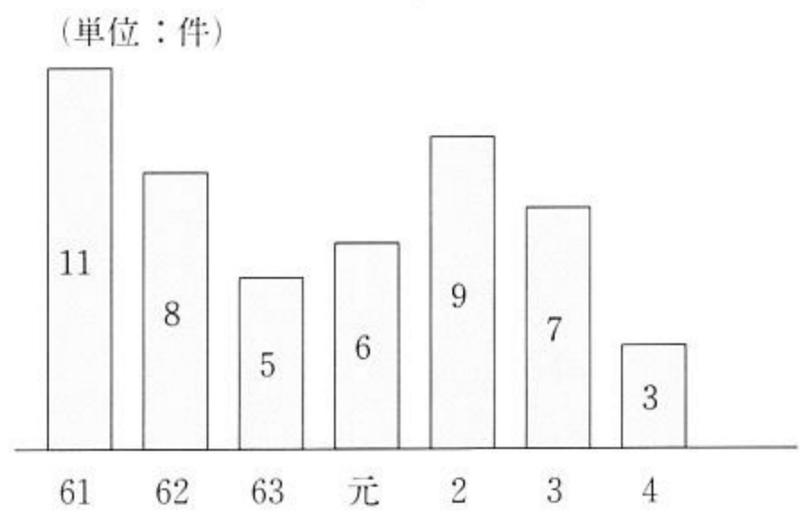
手づくりのイベント

昭和六十一年にスタートした「地域手づくり事業」は今年度で八年目を迎え、延べ四十九団体が実施しています。これまで、街路灯、花壇、遊具などの設置、ゲートボール場や運動広場の整備、民謡や芸能発表会、夏祭りや盆踊りなどの実施など内容もさまざま。地域のイベントのみならず、環境整備などにも大いに利用されています。当初は、各地域の事業を盛り上げる意味で、奨励金は三万円から五万円の範囲で行われていました。その後、事業規模が大きくなるにつれ、奨励金の増額を望む声が大きくなり、平成三年度に奨励金の限度額を十万円に引き上げ、要望に応えてきました。

**奨励金の限度額を
三十万円に引き上げ**

「奨励金の増額」や「奨励金の交付は三年を限度とする事を廃止するよう」といった要望に応えるため、町で

地域手づくり事業の推移
(単位：件)



は今年度要綱を改正しました。今回の改正のポイント、事業を一層推進するため①奨励金の額は事業費の二分の一以内とし、三十万円を限度とする②今まで三年を交付の限度としていたが、これを廃止し、六年目以降は奨励金の限度額を五万円とし交付するものことです。町ではこれからも地域のイベントを応援していきます。詳しくは役場企画課まで。

地域手づくり事業とは

地域、自治会、グループなどの団体が、産業の振興や環境美化、健康増進、文化などの事業を自発的に実施した場合、その事業費の二分の一

以内(三十万円)を限度として、奨励金を交付する制度です。ただし同一の事業を数年実施する場合は、六年目以降の奨励金は五万円が限度となります。

第 9 回
黄桜まつり

一万八千人でにぎわおう

来年は黄桜の開花時期にイベントを

第九回黄桜まつりが五月二日から十六日までの十五日間、八塩いこいの森で行われ約一万八千人の観光客で賑わいました。

今年は四月の低温や雨の影響で桜の開花時期が大幅に遅れ、八日、九日のイベント日にはソメイヨシノは、ほぼ満開だったものの、メインの黄桜はまだつぼみの状態。町外から訪れた観光客からは「黄桜はどれですか？」の質問が相次ぎ、関係者も四苦八苦。今後の課題となりました。

メインイベントの湖上花火は八日の午後七時過ぎから行われ、スターマインをはじめ、湖の中に花火を投げ込んで行う文字どおりの湖上花火に大きな歓声が上がりました。

翌九日は好天に恵まれ、波っこ立って選手権、黄桜演芸会、ミス黄桜発表会、健康ウォークマラソンなどのイベントが行われました。今年のミス黄桜は熊田留美さん（十九歳・本荘市在住、大琴小勤務）と鈴木美保子さん（十八歳、地下の沢在住）の二人が選ばれ、特設ステージで発表されました。ミス黄桜は今年から「町内に勤務している方」も対象にしたことから町外から初のミス黄桜が誕生しました。

町観光協会では「天候不順のため、黄桜の咲かない『黄桜まつり』になってしまった。町外からもたくさん観光客が来ており、十回を記念する来年は黄桜の開花時期に合わせた観桜会期間を検討したい」と話しています。

第六回健康ウォークマラソン入賞者

（敬称略）

《小学校男子》

- ①吉井正憲（岩谷小6年）②小野信弘（大琴小5年）③佐藤順哉（高瀬小6年）

《小学校女子》

- ①小松由佳（高瀬小5年）②宮川瞳（白山小3年）③宮川恵（白山小5年）

《中学校男子》

- ①遠藤和幸（東中3年）②宮川拓也（大森中1年）③小野智樹（東中3年）

《中学校女子》

- ①大庭明子（東中2年）②小野和美（東中3年）③小野里美（東中3年）

《一般男子4歳》

- ①佐々木直人（秋田ルビコン）②鈴木健悦（秋田ナイルス）③小番幸雄（本荘市）

《一般男子9歳》

- ①佐野信幸（秋田ナイルス）②渡辺道男（象潟町）③吉井照勝（大内町）

《一般女子》

- ①照井アヤ子（秋田市）②遠藤美和子（小倉）③佐藤美和（雄物川町）

《壮年男子》

- ①茂木伸也（矢島町）②阿部藤市（本荘市）③佐々木次夫（五城目町）

《親子ペア》

- ①小野清夫、俊輔（宿）②佐藤実、裕美（本荘市）③畠山和枝、薫（石高）

《親子三代トリム》

- ①小野行子、路子、皓大（蔵新田）②高橋ミチ、裕子、みなみ（館合新田）



◀メインの湖上花火



ちよつぱり緊張ぎみのミス黄桜
鈴木美保子さん（右）と熊田留美さん（左）

▼思い思いの花見





▶童心に返っての波っこ立て選手権―湖底堆積の心配がない水片が道具



◀ぼくもがんばるもん!



▶好天に恵まれ出店も大繁盛



「野鳥の家」からのお願い

黄桜まつり期間中の野鳥の家は、大にぎわい。花見の会場にすっかり定着し、利用者からも好評を得ています。
「食べ物があればいいな」という要望に応じて、今年からカップヌードルなどの自動販売機を設置、おかげさまで有効に利用されています。

オープンして三年目を迎えた野鳥の家から

利用者の方々へのお願いです。

▼ゴミは持ち帰ってもらうことにしていますので、ゴミ袋を持参してください。

▼予約は三日前までお願いします。(原則として当日の受付はできません)

▼焼き肉はご遠慮ください。



足元の観光資源を見直そう

町長 阿部幸悦 日記

五月十五、十六日に高橋宏幸先生が来町され、一緒に町内を一周しました。高橋先生にはこれまで、童画コンクール高橋宏幸賞の創設や奥ヶ沢トンネルに童画のレリーフを作るためにご指導をいただいております。町を思う気持ちが一層強いことと、物事を素晴らしく映像化する能力がある先生に、現在の東由利を知ってもらい、これからもいろいろご指導いただくために、お忙しいところ都合をつけていただき来町願いました。

町内を一周して、改めてわが町の資源の豊かなことにびっくりさせられました。岩館の大銀杏、八本杉の大きさ、童画のトンネル前後の素晴らしさ、大台高原、湯出野遺跡、八人塚、ボツメキ水源地、そして八塩いこいの森のすばらしさなど。わが町が観光に力を入れていくとすれば、こんなにも沢山の観光資源が存在しているのであります。

三千年と言われる屋久島の「紀元杉」を見る機会がありました。その時には「なるほど大変なものだ」と感激したものでしたが、今回改めて十二ノ前の「八本杉」を見ると、根の回りの太さ、天に向かって伸びる四十センチ以上の高さ、どれをとっても「大変なものだ」と感激した「紀元杉」も、末(うら)が枯れたただの老木に過ぎないように感じました。町では、黄桜まつりや雪まつりを二大イベントとして町民あげての行事にしております。しかし今、これだけではないはずだ」と言われております。その思いに込めるには、まず足元の素晴らしい資源の存在を知り、改めてこれを見直すことから始めねばと、十五、十六日の町内一周で感じたもので

地域の問題や意見を話し合う

【たくさんの意見や要望が出されました】



平成5年度自治会長会議

町と地域とのパイプ役を担う自治会長さんたちが、地域の問題や意見などを持ち寄り話し合う「平成5年度自治会長会議」が、四月二十六日有隣館で行われました。会議には新年度で役員改選されたこともあり、六十二自治会のうち三十三自治会から新しい自治会長さんが出席しました。会議に先立ち阿部幸悦町長が、連続して納期内に税金を完納した自治会などを表彰（別掲載）。引き続き「明るく元気の出る町」を基本にした平成5年度の主な施策について

説明し、町づくりに協力を要請しました。

このあと、町からの連絡事項について役場の担当課長が説明し、懇談会・意見交換では次のような質問、意見が出され、町が回答しました。なお、事前に自治会から要望があった事項については、文書で自治会長あてに通知しています。

問 ゴミにむらがるカラス対策と収集箇所の増設を

答 自治会で管理できるところに限り、ゴミステーションを設置したい。要望を出してほしい。収集箇所の増設は考えていない。

問 教員住宅の払い下げの考えは。

答 今年度に教員住宅を建設する予定なので、その後に議論を重ねて対応したい。

問 不法投棄防止の条例設置を。

答 議会等でも要望があるが、お互いに声を掛け合って考えるようにしたい。

問 川辺の一層の清掃を。

答 羽後町と協議して進めていきたい。

問 水質汚濁の調査状況は。

答 昨年の九月十一日に、町内九箇所を調査した結果、想像以上のよい結果であった。今年度は八月と二月に行う予定。

表彰 (敬称略)

《自治会長功労表彰》

▼前五海保自治会長 嶽石文男 ▼前横小路自治会長 森川昭児 ▼横渡自治会長 佐藤直温 ▼島自治会長 千葉千代造

《八年連続納期内完納特別表彰》

▼蔵納税貯蓄組合 ▼祝沢納税貯蓄組合

《七年連続納期内完納特別表彰》

▼五海保納税貯蓄組合

《五年連続納期内完納特別表彰》

▼奥ヶ沢納税貯蓄組合

《三年連続納期内完納特別表彰》

▼高戸屋納税貯蓄組合 ▼宿納税貯蓄組合

《優良納税組合表彰》

▼家の下納税貯蓄組合 ▼新処納税貯蓄組合 ▼大琴納税貯蓄組合

《納税功労者》

▼前山崎納税貯蓄組合長 小松良一 ▼

黒沢納税貯蓄組合長 千葉康平



納税優良自治会を表彰

犯罪の未然防止などに一役

昨年、これまで各地区の警察署単位に組織されていた防犯協会が、市町村単位の組織に改編されました。

これに伴い本町でも早期設立のため準備を進めていましたが、このほど春の全国防犯運動（5月10日～19日）にあわせ総会を開催、今年4月1日にさかのぼり発足させることを決めました。

この発足により、今後は青少年非行の未然防止など、犯罪の起こらない明るい町づくりが一層推進されることとなります。

町防犯協会が発足

会長に
川尻幾郎氏

町防犯協会の総会は、五月十一日有鄰館で防犯関係者三十二人が出席して開かれ、会則と役員案件について協議したあと、平成五年度の事業計画と予算を決めました。

同会則は、会員や役員、会議などについて規定したもので、「会員は犯罪予防など同会事業に賛同する町民」「総会は町民を代表する代議員で構成する」「本荘警察署長委嘱の地域安全推進員を代議員とする」「防犯指導隊を設置する」などを明記しています。

代議員及び役員は別記のとおりで、会長には前町防犯連絡所連絡協議会会長の川尻幾郎氏、副会長には大庭時雄、小野松雄両氏が選ばれました。

同会は今年度事業として、防犯指導

隊による町イベント開催時の巡回、無施錠自転車、自動車のロックパトロール、青少年非行防止のための夜間巡回などのほか、地域安全推進員による防犯灯設置状況の調査及び設置の推進などを実施することになっています。

東由利町防犯協会代議員及び地域安全推進員

役員名	氏名	住所	電話
会長	高橋末治郎	須郷	69-2775
	川尻幾郎	黒渕	69-2473
	小松惣一	向田	69-2186
	横山治三郎	泡ノ渕	69-3411
	小松正武	高戸屋	69-2679
理事	高橋隆男	下小路	69-3110
理事	嶽石文男	五海保	69-2968
	大塚清	板戸	69-2825
	小松義嗣	松柴	69-2271
	高橋忠一	館合新田	69-2923
監事	今野秀和	新町	69-2452
理事	畠山忠治	中通	69-3111
	佐藤謙	寺田	69-3007
	小笠原久雄	祝沢	69-3276
	小野次郎	上里	69-2604
副会長	小野松雄	蔵新田	69-3343
	阿部久左エ門	野田	69-3596
	遠藤兵一	小倉	69-2843
理事	石綿国雄	大琴	69-2278
副会長	大庭時雄	舟木	69-3437
	遠藤富治郎	宿	69-3472
監事	鈴木和夫	沼	69-3940
理事	加賀谷修	警察官	69-2132

防犯に関する問題等はもよりの地域安全推進員にご相談ください。

防犯指導員の設置を条例化 より活発な運動を!!

これまで本荘警察署長から委嘱され、ボランティア活動をしてきた町防犯指導員の身分を安定させ、より活発な防犯運動をと、町は三月定例議会で防犯指導員の設置条例を制定、四月一日付

で同指導員に四人を任命しました。制度新設後初の任命を受けたのは、小野松雄さん（蔵新田・隊長）、高橋隆男さん（下小路・副隊長）、佐藤謙さん（寺田）、小松正武さん（高戸屋）。

任命書交付式は五月十九日町役場で行われ、阿部幸悦町長が「犯罪のない明るい町づくりのため頑張ってください」と激励。これに対し小野隊長は「町民に信頼されるよう精一杯努力します」と応えました。

同指導員の任期は平成七年三月までの二年間です。



小野松雄さん



高橋隆男さん



佐藤謙さん



小松正武さん

平成5年度東京東由利会総会

新会長に遠藤三郎氏(十二ノ前出身)を選任

平成五年度の東京東由利会総会は五月九日、東京北区の滝野川会館で行われ、町からは阿部幸悦町長、阿部副議長が出席しました。

総会では昭和五十八年以来十年に及ぶ会長職をつとめられた長谷山稔会長が勇退、新会長に遠藤三郎氏(十二ノ前出身・練馬区在住)が選任されました。なお、総会出席者は一〇六名、会員数二七七名。

活性化拠点施設を強調

総会には前もって平成五年度お茶の間町政読本「ことしの町づくり」が送られてあり、会員は食い入るように頁をめくりながら、阿部幸悦町長の「明るく元気の出る町東由利」を基調とした①東光苑に併設するデイサービスセンター建設②道の駅関連、拠点施設整

備構想③将来に向けた県営土地改良総合整備事業への取り組みなどのあいさつに耳を傾けていました。

また阿部副議長は道の駅関連施設構想を町の今世紀最大のプロジェクトと位置付け、議会内に特別委員会を構成、町と議会は相携えて進んでいくことを力説しました。

した。

懇談会の席上で長谷山前会長は「会員の中には私がかつて郷里で教職時代の関係者が多く、その方たちを中心によく会を支え、盛り上げてい

東京東由



総会であいさつする阿部町長

会場各所で町の話に花が咲く



長谷山前会長(写真・中央上部)は会員間を謝意を述べながら巡回

ただいた」と謝意を語り、遠藤新会長は「会員の中には郷里を知らない息子、孫を抱える在京歴の方もいる。在京小生による一週間程度のふるさと生活体験活動の可能性などを探っていききたい」と語っていました。

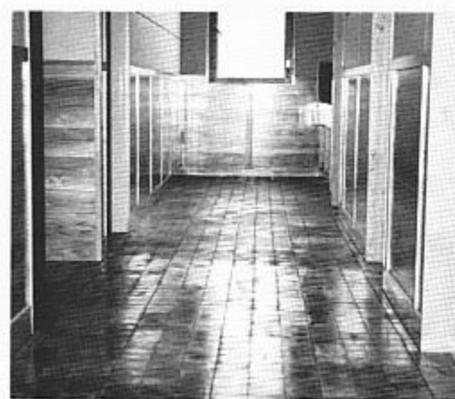
お知らせ「げんき館」



砂入り人工芝のコート

平成四年度からの継続事業である全天候型多目的運動広場、「げんき館」の本体が完成し、オープン予定の七月一日に向けて外溝工事が進められています。

げんき館は砂入り人工芝のコートで、ゲートボールコートなら二面、テニスコートな



ふんだんに木を使った内装

ら一面とれる広さ。通路には木レンガが敷き詰められているほか、柱やスライドドアが木製で温もりのある雰囲気になっていきます。

内部にはゲートボールやテニスの道具、机などの事務用品などを備えることにしています。予約、お問い合わせは教育委員会(☎六九一二三二一〇)まで。

調停相談会を開催します

本荘調停協会主催の調停相談会を次のとおり開催します。相談は無料です。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

とき 七月二日(金) 午前十時から 午後三時

ところ 朋楽荘
内容 土地、建物、交通事故、金銭などの民事問題等



あなたの悩みを
シエイブアップ

調停相談
無料

●日時 7月2日(金) 10時～午後3時
●ところ 朋楽荘
●主催 財団法人 日本調停協会 協賛 協賛 協賛

ヘルパーの「あし」に 「ヘルプくん」登場

町社会福祉協議会に「ヘルパーの機動力アップに役立てて」と、県共同募金会から軽自動車に寄贈されました。「ヘルプくん」と名付けられたこの自動車は、ヘルパーの家庭訪問などに活躍しています。



ヘルプくんが家庭訪問

この自動車は「あなたのやさしさ届けます。赤い羽根」のキャッチフレーズで募金運動が展開された、赤い羽根共同募金の収益金を財源に配分されたもので、今年には県内八市町村に自動車に交付されました。

町社会福祉協議会では「ヘルパーの貴重な「あし」として在宅福祉の一層の向上につなげたい」としています。

寒さにも負けず 力走の子供たち

町内三小学校の連合運動会が五月十五日、大琴小学校で行われ、四年生以上の児童約二百二十人が参加しました。

当日は晴天に恵まれたものの風が強く、寒い運動会となり、子供たちも「寒い」を連発。向かい風も影響して、記録も今一つとなりました。

それでもメインの学校対抗のリレーでは一位と二位との差が百分の四秒のレースになるなど、白熱した戦いを展開。子供たちも盛んに声援を送っていました。

結果は高瀬小がリレーの全種目で一位になるなど安定した力を見せました。



力走する子供たち

足腰の強い 子牛を育成



思い思いに走り回る子牛たち

「自然の中で伸び伸びと、足腰の強い牛を育てよう」として町営朴ノ木沢放牧場の放牧が五月十七日に始まりました。今年にはホルスタイン種二十四頭、ジャージー種十四頭、黒毛和種一頭の計三十九頭を放牧。

計測を終え放された牛たちは、思い思いに牧区内を走り回り、牧草をおいしそうに食べていました。

今年黒毛和種一頭を放牧した田代の渡辺俊治さんは「若林に町営の放牧場があったころはよく利用したが、この放牧場でははじめて。よい牛に育ててほしい」と期待を寄せていました。

放牧は十月下旬まで行われます。



満開の桜の下で 楽しい植樹

今年で十回を数える「ふれあいの森植樹」が五月十八日、八塩いこいの森で行われ、つつじ三百本を植樹しました。

今年、小学校一年生六十名とその保護者、平成四年度生まれの保護者三十七名など関係者二百人が出席。最初に阿部幸悦町長が「今日はみんなで楽しく植えましょう」とあいさつし、一斉に植樹を始めました。子供たちは、あらかじめつつじが準備された場所に進み、丁寧につつじを植えていました。

会場の八塩いこいの森は、黄桜や八重桜がほぼ満開の状態で、きれいな桜の下での植樹となりました。



植樹をする子供たち

ことぶき大学開講



歌にあわせて健康体操

平成五年度ことぶき大学(第二十三期)の開講式が五月十三日、有鄰館で行われ約百人のお年寄りが出席しました。

開講に先立ち、二十年間ことぶき大学の研修に精勤された十二ノ前の高橋金治郎さんが表彰され、引き続き阿部幸悦町長が明るく元気の出る町を基本にした町政を説明、大学生も真剣に耳を傾けていました。

午後からはヘルパーの指導のもとに歌に合わせての健康体操が行われ、会場は終始大にぎわいでした。

最後に「心の健康を保つ」として平鹿総合病院の岡部俊一先生が講話しました。

環境緑化で高瀬 大琴両小が榮譽

「学校とPTAが一体となって環境美化に取り組んでいる」のが評価され、高瀬小に県緑化推進委員会長賞が、大琴小に県森林組合連合会長賞がそれぞれ贈られました。

学校では、生命の尊重や思いやりの心を持った子供を育てようと、花壇や学校田、学校農園などの整備を行っています。高瀬小では毎年六年生が畑に花文字を作ったり、大琴小では学校農園で活発な活動をしています。

五月十八日に増田町で行われた秋田県植樹祭に、高瀬小からは寅田文和君、小野加代さんが、大琴小からは浅田隆幸君、高橋美香さんが出席して、表彰されました。



右から浅田君、高橋さん(以上大琴小) 小野さん、寅田君(以上高瀬小)

なでしこの会が 楽しいひととき

「家の中にこもりがちな六十歳以上の一人暮らしの方に、いろいろな人々と交流してもらおう」と町社会福祉協議会が事務局になり、なでしこの会を結成。五月二十日に管外研修を行いました。

この日は会員三十一名が参加して大森町の「南部老人福祉総合エリア」を見学。プールやゲートボール場の外にカラオケ設備のある施設に、会員は興味深そうに見入っていました。

その後横手駅前の「ゆうゆうプラザ」で懇親会。温泉に入って上機嫌の会員たちからは隠し芸も飛び出すなど、大いに盛り上がり、楽しいひとときとなりました。

町社会福祉協議会では秋にも管外研修を行うことになっています。



説明を聞く会員たち

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS



町の宝もの

13

波宇志別神社(新処)の

賽銭箱

お賽銭をいれるのは普通は箱型の長方形ですが、写真は丸鉢型で非常に珍しいものです。



直経四二・五寸、深さ一七・五寸、四つ足が一八寸、金粉塗りで「奉納保呂羽山・大権現御賽前・丸鉢一口・寶永二年(一七〇五)九月八日・願主金子久左衛門家寛(注・矢島藩家老)諸願成就・如意満足處」と墨で書かれています。

この賽銭箱は保呂羽山頂の神前にあったもので、法内の遠藤宮司は左の座席、八沢木の大友宮司は右で、奉納された品々と御初穂の配分は決められていました。貴重な賽銭箱です。

何をいっているか? のでしょ?!

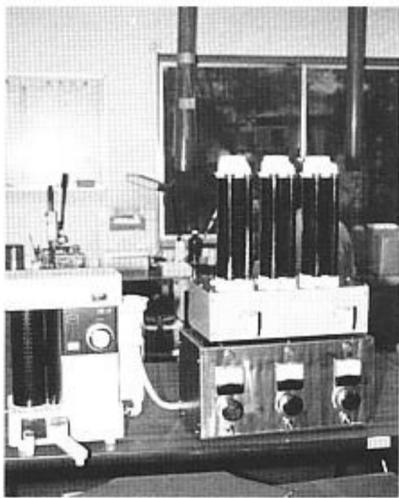
東邦グループの一つである東邦電子ではアルカリイオン水の整水器を主流に製造してきましたが、現在殺菌効果や魚、肉の臭みがとれる「酸性整水器」の製造にも取り組んでいます。すでに他町村では実験などを行っており、効果抜群との事。同社では「家庭でも手軽に使える大ききなので、ぜひ利用してほしい」と話しています。

一方同グループの東邦製作所では水

酸性整水器を製造

東邦グループ(蔵新田)

道管のジョイント、自動車部品の製造農機具の修理などを行っています。



注目の酸性整水器(右)

愛育班から

おがあざん登場

小野 昌さん(下小屋)



内容もわからず活動していた愛育班活動も一年が経過し、少しずつわかってきたような気がします。健康のことはもちろん、食生活の面でもバランスよく食べるように心掛けています。例えば「肉を食べたら、野菜はその倍は食べる」とか、自然とできるようになってきました。何よりも健康管理は「自分のため」と思って活動しています。

活動をしていて思うことは、他町の地域集会に出席して体験発表などを聞いてみると、直接体験している家族の大変さを知ることができ、とても勉強になります。また住吉地区の会員はまじめな人ばかりで、活動するにも一生懸命なので助かっています。「人と触れ合える」という事は何よりも勉強になることだと感じています。

これから少しでも地域の人々の役に立てるよう、自分でできることは頑張っていくと思います。

民謡チャリティーショー 20日に東中体育館で開催

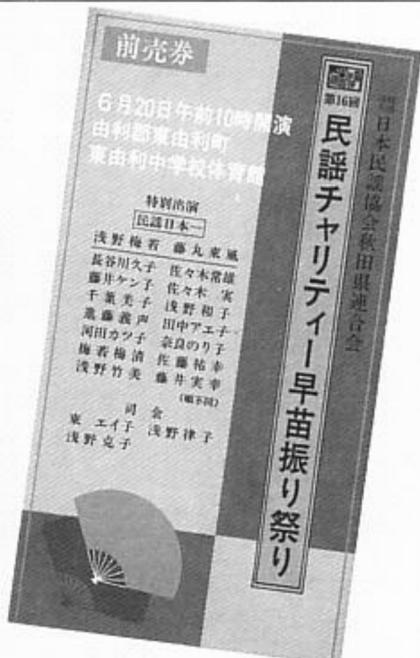
民謡チャリティー早苗振り祭りは、六月二十日午前十時から午後四時まで東由利中学校体育館を会場に開かれます。

これは平成六年に、本町が合併四十年、町制施行二十周年を迎えることを機に、町民が互いに協調して元氣の出る町づくりを進める、いわば前興行として行われるものです。

当日は特別出演として浅野梅若先生、藤丸東風先生、民謡プロ歌手十数名と、日本民謡協会秋田県連合会傘下二十支部から二百三十名の方たちが集い民謡の一大競演となるものです。

町では主催の財団法人日本民謡協会秋田県連合会に助成をし、町民の入場料に還元される仕組みとしました。

ちなみに前売券一枚一、〇〇〇円を五〇〇円に。お買い求め先は、役場企画課、町公民館、町商工会、町民謡同好会(遠藤真吉代表)です。



若い力で 明日の東由利をリード

上里・小野 進さん

縫製会社で忙しい毎日を過ごす傍ら、連合青年会会長などリーダーとして頑張っている小野進さん(26歳)。彼に今後の意気込みを聞いてみました。

いきいき、クローズアップ



仕事の楽しさをおぼえ 充実した毎日

高校卒業と同時に「あこがれ」から東京へ就職。しかし地元のすばらしさに気づき、一年でUターン。家業の小野ニットに勤務。今年で六年目を迎えます。内職回りやこん包作業などを担当している彼は「何事にも一生懸命取り組みように頑張っている。景気も少し上向いてきたので、仕事も楽しくなってきた」と話しています。毎日のように残業の日々が続いて、日曜日はぼんやりしている時が多いとか。会社の専務を務める兄の幸喜さんは



きめ細かな仕事は集中力が勝負

「頑張ってもらっているので助かっている。ただ、仕事に兄弟は関係ないので、もっと貧欲に取り組んでほしい」と厳しいコメント。彼に対する期待の大きさが伺えます。

「最初のうちは転職も考えたが、仕事は忙しくてもどんどん片付いていくときはとても楽しく充実している。自分でやらなければならぬという気持ちが出てきた」と話す進さん。将来は今の仕事を生かして、プレスやミシンの修理などを趣味としてやってみたいという夢ももっています。

深刻な「青年会活動」

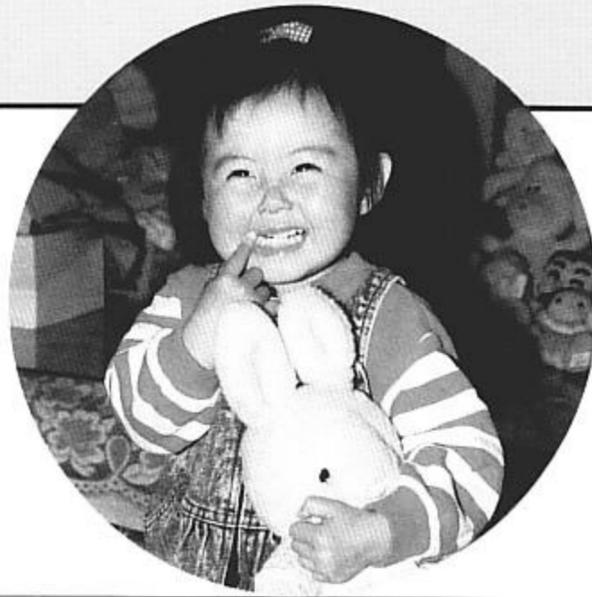
町連合青年会会長を務めて今年で二年目。「自分の能力を超える事業がたくさんあり、大変です」と会長としての責任の重大さに戸惑いながらも「青年

会の仲間と飲んでいる時は、そんな事も忘れて楽しんでます」と持ち前の明るい性格でカバーしているようでした。立場上、県や郡の会議に出席する機会もあり、他市町村の青年会とも交流してみると、どの市町村でも会員不足で悩んでいるそうです。「今の時代は青年会のような型にはまった活動はなじまないのかもしれない。また以前は『酒飲みあるが来ねが』と言えば会員も集まったが今はそうはいかなくて……」と会員不足による活動の衰退に頭を悩ませているようでした。

十年くらい前までは常に三十人前後の人が活動していた連合青年会も今では実際に活動する人が十人に満たない状態です。苦しい活動を強いられる青年会活動を考え直す時期にきているのかもしれない。



連青の総会では厳しい表情(写真・左)



「外では水遊びや砂遊び、中ではぬいぐるみやお人形と遊んでいます。毎日元気いっぱいです」とお母さんの恵利子さん。

わが家の
アイトル

蔵・伊東聖美ちゃん
(H・3・6・15生まれ)
国広さんと恵利子さんの二女

東由利——ニューズダイジェスト③

あめの日・あめの時

スクールバスで通学

昭和四十九年四月に蔵小と法内小が統合したため、法内地区の二十八人の子供たちは町内で



遠足気分のバス通学

待たれる全線運行

は初のスクールバスでの通学になりました。当時のスクールバスの終点は新処地区。新処から桂台間の一は弱は町のジープを主体に中継送迎していました。バスを利用した子供たちは「友だちがたくさんできたし、とても楽しい」と遠足気分でのバス通学のようにしました。また二人掛けのシートは指定席になっており、出欠の状況が一目で確認できるようになっていました。このスクールバスは、登校時に一回、下校時は二回運行されていました。

東由利の文芸

- ◆ アドバリン遠く近くに夏近し
- ◆ 三階ビル高層ひばり涼めけり
- ◆ 辛夷咲く遠くに鳥海山まだ白し
- ◆ 大しぜん起死回生の大野焼
- ◆ 膝ついて蓬食べてる幼牛

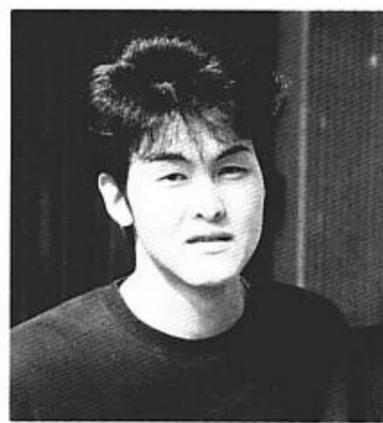
せせらぎ句会 (五月句会)

- 佐藤 正義 (湯出野)
- 小松慶治郎 (高戸屋)
- 工藤 武雄 (山崎)
- 小松順之助 (中通)
- 小松 徳蔵 (湯出野)

高校卒業と同時に仙台の専門学校で歯科技工士の資格を取得した彼は、昨年Uターンして現在の会社に勤務しています。「トレーニングジムもあるので暇をみて体力づくりをしています」と話すスポーツマン。今は

スポーツ

佐々木利博さん (23歳)
新町・由利デントラルトレーニング (本荘市) 勤務



野球が一番おもしろいとの事。仕事面では、理想と現実のギャップもあり、それなりの苦労はあるもののやり甲斐があり「充実した毎日」を過ごしているそうです。「自分はあまり行動的でなくじつとしているタイプ」と話す

反面「今年は自分にあった趣味を見つけて楽しみたい」と意欲満々。次は土場沢の畑山英伸君にリレーします。

- ◆ 戻り寄る泉ありけし夕こぶし
- ◆ 辛夷花咲く向方に作試し
- ◆ 浅間嶺や咲くまで間あり花辛夷
- ◆ 満開のこぶしを揺らす小鳥たち
- ◆ 夜のしじま息絶えるごと野火消える
- ◆ こぶし咲き杉の木立を淡くして
- ◆ 遠野火の土手の長さを目ではかる
- ◆ ウィンドーに墨書太く蓬餅
- ◆ こぶし咲き里がまだある村がある
- ◆ 野火鎮まり村のあかりが雨さそう

- 鈴木 要 (沼)
- 菊地 常作 (湯出野)
- 小松 メサ (下小路)
- 小笠原トミ (蔵新田)
- 小野 貞子 (蔵新田)
- 小笠原亮子 (蔵新田)
- 阿部 澄子 (蔵)
- 佐藤 貞 (蔵)
- 遠藤トミ子 (小倉)
- 高橋ヒデ子 (横渡)

笑顔の子供たち



はたけやま
かおるさん

わたしは、大きくなったらか
んごふさんになりたいです。わ
けはびょうきになった人やけが
をしたりした人のからだをもと
どおりにしてあげたいからです。
どんなかんごふさんになりたい
かという、やさしくて、とつ
てもあかるいかんごふさんです。
わたしはかせをひいてびょう
いんにいったりすると、いつも
こんなにやさしくて、とっても
あかるいかんごふさんになりた
いなあと思っています。
はやくおとなになって、かんご
ふさんになりたいと思います。



たかさわ
よしみさん

わたしは大きくなったら、バ
スケットのせんしゅになりたい
です。だってバスケットが大す
きだからです。
一年生のときからバスケット
がすきでした。わたしは六年生
がたいいくかんでれんしゅうし
ているとき、いつもすきまから
そつと見ていました。
このゆめがかなったらいいな。
もしゆめがかなったらどんどん
れんしゅうして、うまくなって
バスケットのチャンピオンにな



はせやま
よしきくん

りたいです。ゆうしやうをめざ
してがんばってみたいです。
ぼくは、せかい一しゅうして
みたいです。ただのせかい一し
ゅうではありません。ところが
やさしく、せかいの人をたすけ
る人にうまれかわって、せかい
一しゅうのたびにでたいなあと
おもっています。
ヘリコプターで空からしやし
んをいっぱいとって、日本一し
ゅうと外国を一しゅうとほつき
よくとなんきよくにもいつてき
ます。おもいにもつをリュック
サックにいっぱいつめてせかい
一しゅうします。

未来の夢は？ (八塩小二年生)



みどり保育園
右からしずえちゃん・はるなちゃん
かずひこくん・たかひろくん



ぼくの絵 わたしの絵

おかあさん
ありがとう



よこやまかずひこ
(向田)

さとうはるな
(八日町)



はせやまたかひろ
(田代)

ハイスクール日記

我が野球部の 目標

我が校の野球部は、
新入生九名を新たに
加え、総勢十六名で
今年も毎日チーム一丸となって
練習に励んでいます。去る五月
十一日に、太田町の太田町営球
場で行われた、全県全日制分校
軟式野球大会(全県にある分校
のリーグ戦)では、太田分校に
十二対六、笹子分校には二対〇
で勝ち、三年連続の優勝を成し
遂げることができました。これ
は日頃の練習の成果もあります
が、我が野球部を応援して下さ
っている方々のおかげであると



下郷分校野球部主将
渡辺 修史さん

感謝しています。しかし、今大
会を振り返ってみての反省点も
多くありました。バッティング
でのミートの甘さ、守備での連
係プレーの緻密さなど今後さら
に鍛えていきたいと思っています。
もうすぐ三年生にとって最後
の試合となってしまう全県軟式
野球選手権大会が始まります。
ここ数年、春・夏・秋と公式戦
で勝ったことがないので今年こ
そは一勝をと、いや優勝旗をこ
の東由利に持つてくるという気
概で頑張ろうと思っています。
根気と集中力を持って、いま
以上の密度の濃い練習を耐え
ぬいていきたいと思っています。

6月→データ東由利

〈4 / 1 ~ 4 / 31〉

人口 ()は前月比

■男	2,732人(△10)
■女	2,878人(2)
■計	5,610人(△8)
■世帯数	1,419戸(1)

()は1月からの累計

- 出生…2人(6) ●死亡…4人(24)
- 転入…17人(36) ●転出…23人(82)

- 火災出動…2件(2)
- 救急出動…9件(36)
- 交通事故…1件(2)
 - 死者…0人(0)
 - 傷者…1人(2)
- 飲酒運転…0人(0)
- 酒気帯び…0人(2)

6月の行事

- 4 奥ヶ沢1号トンネル貫通式 (14:00~現地)
- 5 秋田ルビコン親善野球大会 (勤労者野球場)
- 8 6月議会定例会
- 16 敬老会 (高瀬小学区)
- 17 ♪ (八塩小学区)
- 18 ♪ (大琴小学区)
- 20 民謡チャリティー早苗振り祭り (10時~東中体育館)
- 下旬 町畜産共進会

今月は町県民税1期の納期です。
役場は毎週土曜日が休みです。

東由利

郷土の野草

No. 100



コウヤワラビ

(ウラボシ科)

文・写真 小松忠正

ゼンマイワラビともいい、原野、路傍、田の畦など、どこでも見られる多年草です。根茎は地中に横に這い、その下に多数の根を出します。葉は五月ごろ根茎から疎らに細く硬い葉柄をたて、長楕円形で葉辺に鋸歯のある羽状に深く裂けた対生に近い葉を出します。裸葉(緑色で光合成をおこなう普通の葉)と胞子葉(胞子をつくる葉)があります。和名は和歌山県高野山に多くあったことからいわれ、ゼンマイワラビは葉がゼンマイの葉に似ているのでいわれます。

◎五月号のタネツチバナはタネツケバナの誤植でした。

戸籍の窓口

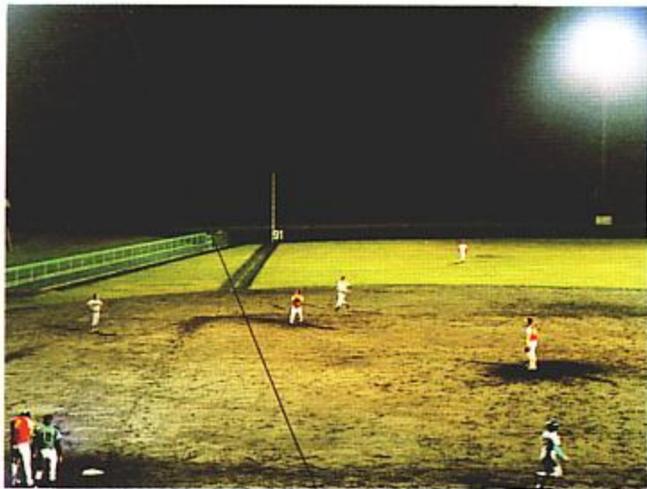
●お誕生おめでとう

(4/21~5/20届出)

- 大日向 優ちゃん(一博) 長女・宮ノ前
 - 島山 由妃ちゃん(由美子) 二女・上通
 - 島山 拓ちゃん(俊明) 長男・寺田
 - 小松奈央ちゃん(真由美) 三女・新町
 - 小松 佳広ちゃん(知子) 二男・湯出野
 - 鈴木 美徳ちゃん(郁子) 長女・袖山
 - 森川貴代美ちゃん(美緒子) 二女・横小路
 - 根田 和真ちゃん(和春) 長男・田代
- ご結婚おめでとう
- 太田光弘さん 蔵新田
 - 佐藤隆子さん 黒淵
- ごめい福をお祈りいたします
- 大日向 長一さん(67) 夫・宮ノ前
 - 梅津 ヨシミさん(83) 男・母大琴
 - 佐々木ナツノさん(79) 男・母大琴
 - 小松 ラスエさん(93) 男・母下通
 - 小松 久隆さん(57) 夫・宇戸坂
 - 鈴木 榮太郎さん(88) 父・大琴

私の好きな風景

ナイター野球



いよいよ野球シーズン到来。間もなくこんな風景が見られそうです。
(撮影・阿部重雄さん、蔵新田)

まちひろ

町社会福祉協議会に高橋トミさん(久保)から金一封のご芳志が届けられました。
また広報送付の謝礼として萩野千生さん(旧姓小野・宿出身、東京都在住)、島山安治郎さん(智者鶴出身、仙台市在住)から金一封が届けられました。
ありがとうございました。

ほっとときひととき

「今はみんなで集まって何かをやるという時代ではないよ」「んだども何かやって感動すればおもしろいよ」
「そんな事も全然考えてない若者が多いよ」
と酒飲みの席での会話。
若者の間で、自分たちが企画して、実行して、終わった後感動するようなことが最近少なくなつたような気がします。
「そんな時代でない」とすればどんなことをしてみたいのだろう。考えさせられる会話でした。